

見たい?撮りたい?

バードウォッチングって鳥見るだけでしょ?と思っていた人も、もっともっと極めたい人も、見るだけじゃなく撮るのも好きだ!という人も注目のイベントです!

これまで数々の図鑑や写真集などで野鳥の撮影を手がけてきた野鳥写真家の叶内拓也さんを講師にお迎えし、「kowa」のロゴでおなじみの興和光学株式会社さんの協力をいただいて、バードウォッチングと野鳥撮影講座の開催が実現しました!

1日コースで午前中は叶内さんと観察館からのバードウォッチングを楽しみ、午後からは叶内さんに野鳥撮影のテクニックを伝授していただくという贅沢な内容です。ご参加の方はお昼ごはんをご自分で準備していただくほかは受講料も入館料も無料!鴨池観察館開館30周年記念のファイナルイベントも大盤振る舞いです!!

なかなかない機会なので、できるだけたくさんの方にご参加いただきたいのですが...**限定30名です!**ごめんなさい!空きは残りわずかとなっています。

**2月21日(土)、10時~15時30分です。
お申し込みはお早めに!!!**



鴨池通信

かもいけつうしん
No.258/2015.2

かもたちのお嫁さんさがしも
そろそろ追い込み。鴨池でも
あちこちでオスがプロポーズ
しています。

2月号 CONTENTS

- 見たい?撮りたい?
- 鳥の道を越えた先に
- かもいけ歳時記 如月
- 鴨池のいきもの 2月
- TORI TOPICS Jan.
- イベントあるよ!

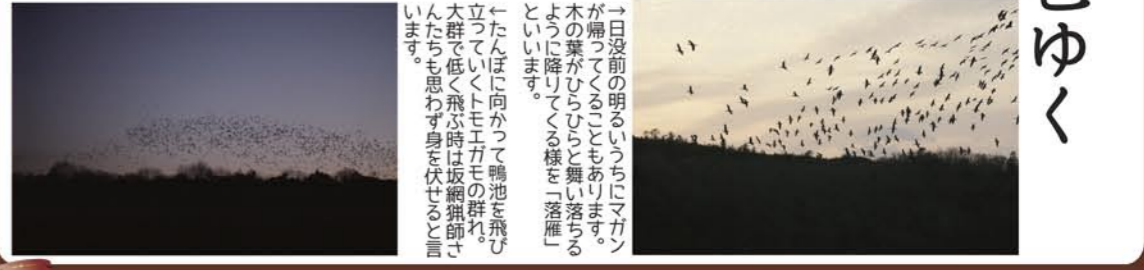
まだまだ
これからです。

てっかいの
もらっちゃったよ



かもいけ歳時記 如月
飛雲のごとく巴ゆく

夕暮れ時、鴨池はひとときわにぎやかに
なります。たんぽぽに「ごはんを食べに
行く時間が近づき、カモたちの声があ
ちこちから聞こえてきます。そこへマ
ガンの大群が雁行と呼ばれる列をなし
て、キャンキャンと鳴き交わしながら
たんぽぽから帰ってきます。ときにはさ
らにコーコーとコハクチョウの家族も
夜のねぐらをとりに降りてくる。こも
あります。池に帰ってくるマガンやコ
ハクチョウと入れ替わりにカモたちが
夜のたんぽぽへと飛び立ってゆく。こ
んな光景が毎日見られます。



→日没前の明るいうちにマガンが帰ってくることもあります。木の葉がひらひらと舞い落ちるように降りてくる様子を「落雁」といいます。

鳥の道を越えた先に

ふたつの鳥狽 と題して1月11日に行われた映画「鳥の道を越えて」の上映会とパネルディスカッション。当日は県外から来られた方も含めて参加者は66名、会場は満席でした。

上映会では、映画監督の今井さんが幼い頃におじいさんから聞いた、「山の向こうに鳥の道があった」という言葉をきっかけに、今井さん自身がカスミ網狽の足跡を追いかけていく過程が丁寧に綴られていました。カスミ網狽を生活の糧としていた人たちが、狽に反対する人たちが、鳥の調査のために許可を得てカスミ網狽を使う人たちが...そして同じ網狽でありながら現在も続いている坂網狽に携わる人たちが。今井さんは様々な立場の人たちと出会い、それぞれの思いを聞きとり、しっかりと受けとめます。さまざまな考え方の間で揺れ動きながらも、伝統文化として行われてきたカスミ網狽が禁止されたにもかかわらず、鳥の数は減少し続けている現実と自分たちはどう向き合っていくべきか?と今井さんは自分自身にも、わたしたちにも課題を投げかけています。

今月中も東京都や岐阜県で上映会が予定されています。加賀からはちょっと遠いですが、今回見られなかった方にもぜひ一度見ていただきたい映画です。



後半のパネルディスカッションは、パネリストに神奈川大学の安室知先生、(公財)日本野鳥の会の大畑孝二さん、「鳥の道を越えて」の今井友樹監督をお迎えし、さくらんぼの司会で坂網狽とカスミ網狽を比較してのさまざまな質問に答えていただきました。みなさんにとっても重要な意見をいただき、有意義な時間になりました。最後に大聖寺捕鴨猟区協同組合の池田豊隆さんから、「今後もカモたちを大事に思う気持ちをもって(坂網狽を)続けて、未来に託していきたい」とコメントをいただきました。

坂網狽やたんぽぽという人の生活のそばにあり、人の生活によって守られてきた片野鴨池。これからも坂網狽師さんや農家のみなさん、ボランティアのみなさんや来館者の方々など、さまざまな人とかわりながら、自然だけではなく人まで含めた「片野鴨池」という宝物を守って行きたいと、レンジャー一同気持ちを新たにしたい日でした。
ご参加くださったみなさま、ありがとうございました!

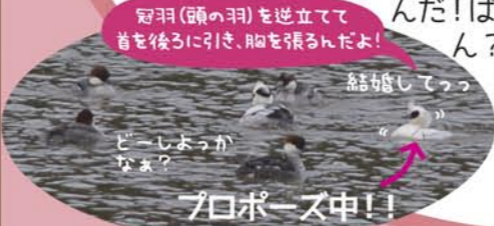
巫女秋沙。

じゃん?オレの名前漢字で書くと。オレたち真っ白な体に黒い線がすーっと入った模様してるだろ?それが巫女さんみたいだからミコなんだってさ。じゃ秋沙って何だって思うだろ?なんかさ、万葉集って古い書物に秋沙って出てるらしいよ。秋早々に来るとか、秋が去る頃来るとかいろいろ言われてはっきりしないんだけど、冬に潜って魚食べてて、くちばしがのこぎりみたいにギザギザしてるカモのなかまのことを昔から日本では秋沙って書いてアキサって言って、それがアイサになったらしいぜ。で、巫女さんみたいな秋沙でミコアイサ。物知りだろ?オレ。

鴨池のいきもの 2月 ミコアイサ

鴨池にいるほかのカモたちってさ、オレみたいに真っ白なのいないじゃん?だからいるとけこう目立つし見つけやすいみたいだよ。だけどオレ魚食べたいからさ、できれば潜ってたいんだよね。顔出してる時間短いけど、オレのヘアスタイルもかなりイケてるからみんな頑張って探してくれよな!そうそう、オレの彼女もカッコいいんだ!ぱきとした顔しててやっぱ目立つよ!!

ん?誰だオレのことパンダガモって言うてんのは?カッコいいって言われたいとこだけど... かわいいってのも悪くないな、うん。



TORI TOPICS Jan.

- *1月の鴨池に来た鳥・いた鳥・事件などなどハイライトをご紹介します!
- ・寒波でマガン鴨池に帰らず(2日)
- ・ウソ♀群確認(7日)
- ・オジロワシ初認←2年ぶり!(23日)
- ・トモエガモ335羽に... (26日)
- ※モズ、観察館周辺巡回中!



←左の大きい方がオジロワシです。右はハシトガラス。オジロでかい!

イベントあるよ!

ガンのねぐら入りを見よう

夕闇の中、鴨池に帰ってくるマガンたちがひらひらと舞い降りてくる「落雁」の様子が見られます。

2月21日(土)・22日(日)
28日(土)・3月1日(日)
全日とも17:30~

持ち物: 防寒具・双眼鏡(お持ちの方)
※事前のお申し込みは不要です。館内は寒いので暖かい服装でお越しください。参加費は無料(別途入館券をお買い求めください。大人310円・75歳以上150円・高校生以下は無料です)。

鴨池観察館通信紙 No.258 鴨池通信2015年2月号

発行: 加賀市鴨池観察館
制作編集: 加賀市総合サービス株式会社 田米希久代 櫻井佳明 中野夕紀子
〒922-0564 石川県加賀市片野町子2-1
TEL: 0761-72-2200 FAX: 0761-72-2935
E-mail: kamoike@kagashi-ss.co.jp URL: www.kagashi-ss.co.jp/kamoike/

Twitter Facebookで最新ニュースお届け中! Facebookはアカウントなしでも見られます!!

指輪などで片方を隠すと読みとりやすいよ!